

久慈市子育て支援センター
『親子で一緒に読み聞かせ・親子あそび体験 ファンタジスタショー』
～ 家庭教育支援基盤形成事業 育児講座 ～



親子でスキンシップをとりながらのあそび体験

取組内容

男性保育士グループ チームファンタジスタ 『ファンタジスタショー』

① 演奏と歌にあわせた親子あそび

チームのメンバーによる楽器の演奏と歌に合わせて、親子でスキンシップを図ることができる親子遊びを行った。

② 絵本の読み聞かせ

プロジェクターを使って、大きな画面に絵を投影しながらの、男性ならではの読み聞かせを実視した。

③ 詩の朗読

参加した保護者の方々の心をつかむ詩『てをつないでどこまでも』の朗読で、講座を締めくくった。

ポイント

講座の中で、親が新しいふれあい遊びを体験することによって、子どもとの遊びの世界が広がっていた。

また、講座の中で、それぞれの家族が、一緒に活動することで、同年代の子どもをもつ親の横のつながりも出てきていた。

子どもたちも親も楽しんで、次の活動のきっかけができることが講座の成果ともなっている。

事業成果

ネット環境の普及や、コロナ禍の時代を経て、直接体験が少ないまま、親世代となった方も多数いる時代となっていることに伴い、子どもとのスキンシップの取り方に迷いが生じている方々もいるため講座実施の意義があるととらえている。

親子の触れ合いとしてのスキンシップがとれる遊び等を提供する講座を実施することによって、子どもと親との直接体験や、家庭でのふれあい遊びの充実を図ることにつながっている。

参加した保護者からはとても満足度が高かったとのアンケート結果が得られ事業実施の成果を感じることができる。

課題や今後の取組み

参加者からは好評を得た講座だったが、より多くの方に参加を促すため、講座の周知方法等を吟味するとともに、参加者の方々からのアンケート等をもとに、ニーズに応じた講座を計画していく必要がある。

より多くの子どもたちや保護者の方々に多様な体験活動を提供するため、多方面の講師をリストアップし、保護者の要望に応えた充実した講座を提供できるよう、体制の整備をしていきたい。

参加者の感想

・絵本の読み聞かせ方や楽しませ方がとても参考になりました。

・親子ともにとっても楽しく過ごさせてもらいました。家でも今日やったことを思い出してやってみようと思います。

・今しかない子どもとの時間を大切に過ごしていきたいです。